

東京 2020 応援文化オリンピックアード

第60回 熊本県芸術文化祭

# くまもと 子ども芸術祭

入場無料



「くまもと子ども芸術祭」は、地域文化の継承を目的に、次世代を担う子どもたちを主体に実施する芸術祭。第1回の天草、第2回の人吉、第3回の菊池、第4回の山鹿、第5回の八代に続き荒尾が6回目となります。

## 2018 in あらお

平成30年  
日時 / 8月25日(土)・26日(日)  
場所 / 荒尾総合文化センター  
熊本県荒尾市荒尾 4186-19 ☎0968-66-4111

### コンセプト 「炭鉱のまちが育んだ文化 熱き炎を未来へ」



ちざり絵：あらまみのり 荒木聖憲さん「万田坑」

北に世界文化遺産の万田坑、西にラムサール条約登録湿地の荒尾干潟、東に県立自然公園の小岱山がある自然豊かで歴史あるまち荒尾。

鎌倉時代には、「のばらさん」で親しまれる風流と節頭行事が始まり、江戸時代には伝統的工芸品の小代焼が作陶され始めます。明治時代には万田坑を中心に近代日本産業を支え、炭鉱のまちとして栄えました。孫文の革命運動を支援した宮崎兄弟や天才少女詩人海達公子などの偉大な人物も輩出し、その遺産は今も息づいています。先人たちが築いた宝を守り未来に伝えていくために、次世代の担い手である子どもたちを主体とした芸術祭を実施します。

**展示** 25日(土)：午後1時～5時  
26日(日)：午前10時～午後5時

テーマ「私のふるさと 荒尾」

- ・絵画と書道 市内小中学校・高校・支援学校
- ・俳句 市俳句協会 少年少女俳句教室
- ・華道 荒尾華道会・有明高校華道部

◎表彰式 26日(日)：午後1時～

**体験** 26日(日)午前10時～午後4時  
(人数に限りあり。体験無料。)

- ・陶芸 人数制限なし / 小代焼窯元の会
- ・華道 70人 / 荒尾華道会
- ・茶道 120人 / 海陽中茶道部
- ・小岱松クイズ 200人 / 小岱松保存会

**舞台** 26日(日)：午後0時30分開場  
午後1時開演 (午後4時30分終演予定)

- ①構成詩「まばゆい！海達公子と万田っ子と」 / 万田小
- ②荒尾地方の嫁入り唄「のんしころ」 / 有明民謡会・みやじま幼稚園
- ③上荒尾熊野座神社神楽「四幣」 / 上荒尾熊野座神社神楽保存会
- ④水俣市「水俣の棒踊り」 / 袋中学校 ⑤和太鼓「海唄」 / 荒尾太鼓
- ⑥民話「猫宮のはなし」 / 有明小
- ⑦阿蘇市「波野子ども神楽～八雲払～」 / 波野子ども神楽部
- ⑧バレエ「Kohlebergbau」(石炭採掘) / 深浦バレエスタジオ
- ⑨野原八幡宮風流(川登地区) / 風流節頭保存会

#### 【特別ゲスト】

第2回子ども芸術文化未来賞受賞 NHK 熊本児童合唱団  
ミュージカル「アラジン」より3曲



関くまもと子ども芸術祭 2018in あらお  
地域実施委員会事務局 (生涯学習課)  
〒864-8686 荒尾市宮内出目 390  
☎63-1681 FAX62-1218